



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 三菱UFJリース株式会社  
 コード番号 8593 URL <http://www.lf.mufg.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳井 隆博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 福山 徹 TEL 03-6865-3004  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	636,260	△1.4	57,887	△9.4	63,496	△7.3	50,528	12.0
2018年3月期第3四半期	644,988	4.9	63,873	4.3	68,467	4.4	45,111	3.9

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 52,751百万円 (7.2%) 2018年3月期第3四半期 49,193百万円 (413.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	56.76	56.55
2018年3月期第3四半期	50.71	50.52

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	5,709,834	765,138	13.0
2018年3月期	5,552,712	731,124	12.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 740,860百万円 2018年3月期 707,077百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	7.50	—	10.50	18.00
2019年3月期	—	9.50	—		
2019年3月期(予想)				9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	840,000	△3.4	156,500	0.2	80,000	0.9	84,000	△2.5	66,000	3.6	74.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	895,834,160株	2018年3月期	895,834,160株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	5,545,116株	2018年3月期	5,791,216株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	890,172,074株	2018年3月期3Q	889,644,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
3. 補足情報	8
営業取引の状況	8
(1) 取引種類別営業取引の状況	8
(2) 報告セグメント別営業取引の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2019年3月期第3四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2018年3月期 第3四半期連結累計期間	2019年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率 (%)
売上高	644,988	636,260	△1.4
売上総利益	119,253	116,093	△2.6
営業利益	63,873	57,887	△9.4
経常利益	68,467	63,496	△7.3
親会社株主に帰属 する四半期純利益	45,111	50,528	12.0

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、貿易摩擦問題などの懸念材料が残るものの、全体として拡大傾向が続きました。日本経済は、相次ぐ自然災害による一時的な落ち込みはあったものの、堅調な企業業績や消費に支えられ総じて緩やかに拡大しました。こうした環境下、当社グループでは2017年4月より開始した中期経営計画“**Breakthrough for the Next Decade**～今を超え、新たな10年へ～”に掲げる成長戦略、経営基盤強化戦略を積極的に推し進めてまいりました。

損益面では、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2018年4月に全保有株式を譲渡したMMCダイヤモンドファイナンス株式会社（以下、「MDF」）を連結の範囲から除外した影響等により、前年同期比1.4%減少の6,362億円となりました。また、売上総利益は前年同期比2.6%減少の1,160億円、営業利益は前年同期比9.4%減少の578億円、経常利益は前年同期比7.3%減少の634億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、MDFの株式売却益や米国税制改正の影響等により、前年同期比12.0%増加の505億円となり、第3四半期連結累計期間の最高益を更新いたしました。

当第3四半期連結累計期間の契約実行高は、航空機リースをはじめとするグローバルアセット事業が伸びたことにより、前年同期比10.6%増加して1兆2,046億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、全持分を取得した米国販売金融会社 ENGS Holdings Inc. を連結子会社化したこと等により、前期末比1,571億円増加して5兆7,098億円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の積上げ等により、前期末比340億円増加の7,651億円、自己資本比率は前期末比0.3ポイント上昇して13.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期において、2017年に成立した米国税制改革法に伴い2019年より外国子会社合算税制の対象となる見通しであった米国子会社のうち、一部の米国LLC (Limited Liability Company) がリース物件の売却による取引の終了等のため対象とならなくなったことにより、繰延税金資産及び繰延税金負債の金額を見直した結果、法人税等(42億円)が減額いたしました。第3四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しも踏まえ、2018年5月15日に公表しております2019年3月期通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

2019年3月期通期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	2018年5月15日 発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率
親会社株主に帰属 する当期純利益	615億円	660億円	45億円	7.3%

## (注意事項)

上記業績予想は現時点での予想数値であり、実際には様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	165,100	224,611
割賦債権	273,364	263,557
リース債権及びリース投資資産	1,543,940	1,575,085
営業貸付金	1,176,212	1,000,652
その他の営業貸付債権	57,006	65,600
賃貸料等未収入金	23,740	21,514
有価証券	3,446	1,665
商品	10,828	16,299
その他の流動資産	75,164	80,611
貸倒引当金	△7,502	△6,223
流動資産合計	3,321,299	3,243,374
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸資産	1,725,644	1,835,577
貸貸資産前渡金	18,226	49,573
貸貸資産合計	1,743,871	1,885,150
その他の営業資産	39,521	61,855
社用資産	5,771	6,835
有形固定資産合計	1,789,164	1,953,841
無形固定資産		
貸貸資産	94	79
その他の無形固定資産		
のれん	71,299	74,266
その他	38,130	66,880
その他の無形固定資産合計	109,429	141,147
無形固定資産合計	109,524	141,227
投資その他の資産		
投資有価証券	258,947	288,781
破産更生債権等	34,892	38,619
その他	54,541	62,349
貸倒引当金	△15,658	△18,358
投資その他の資産合計	332,723	371,391
固定資産合計	2,231,412	2,466,460
資産合計	5,552,712	5,709,834

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	83,177	77,142
短期借入金	407,351	344,883
1年内償還予定の社債	157,858	235,589
1年内返済予定の長期借入金	304,868	235,281
コマーシャル・ペーパー	807,400	827,900
債権流動化に伴う支払債務	63,860	47,274
未払法人税等	8,592	5,152
割賦未実現利益	17,810	16,195
賞与引当金	5,865	3,714
役員賞与引当金	77	237
貸貸資産保守引当金	264	69
その他の流動負債	167,264	118,583
流動負債合計	2,024,392	1,912,023
固定負債		
社債	675,846	777,672
長期借入金	1,732,546	1,865,330
債権流動化に伴う長期支払債務	102,037	73,267
役員退職慰労引当金	158	161
退職給付に係る負債	5,602	5,480
負ののれん	226	-
その他の固定負債	280,777	310,758
固定負債合計	2,797,195	3,032,672
負債合計	4,821,588	4,944,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,196	33,196
資本剰余金	167,187	167,154
利益剰余金	441,604	474,297
自己株式	△2,026	△1,939
株主資本合計	639,962	672,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,865	15,005
繰延ヘッジ損益	4,089	7,730
為替換算調整勘定	43,408	48,411
退職給付に係る調整累計額	△3,249	△2,995
その他の包括利益累計額合計	67,114	68,152
新株予約権	1,380	1,537
非支配株主持分	22,666	22,741
純資産合計	731,124	765,138
負債純資産合計	5,552,712	5,709,834

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	644,988	636,260
売上原価	525,735	520,166
売上総利益	119,253	116,093
販売費及び一般管理費	55,379	58,206
営業利益	63,873	57,887
営業外収益		
受取利息	89	301
受取配当金	1,778	2,239
持分法による投資利益	2,022	2,776
償却債権取立益	2,154	1,791
その他	1,976	1,720
営業外収益合計	8,021	8,829
営業外費用		
支払利息	2,769	2,462
その他	658	758
営業外費用合計	3,427	3,220
経常利益	68,467	63,496
特別利益		
投資有価証券売却益	1,927	4,698
関係会社株式売却益	-	1,315
段階取得に係る差益	846	969
特別利益合計	2,774	6,983
特別損失		
投資有価証券評価損	-	286
投資有価証券売却損	20	584
特別損失合計	20	870
税金等調整前四半期純利益	71,221	69,608
法人税等	24,324	17,893
四半期純利益	46,897	51,715
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,785	1,186
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,111	50,528

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	46,897	51,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,619	△7,760
繰延ヘッジ損益	840	3,856
為替換算調整勘定	△6,547	5,215
退職給付に係る調整額	358	255
持分法適用会社に対する持分相当額	25	△530
その他の包括利益合計	2,296	1,035
四半期包括利益	49,193	52,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,293	51,575
非支配株主に係る四半期包括利益	1,900	1,175

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第9号(金融商品)及びIFRS第15号(顧客との契約から生じる収益)を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。この変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の見直し)

2017年の米国税制改革法成立に伴い2019年より外国子会社合算税制の対象となる見通しであった米国子会社のうち、リース物件の売却による取引の終了等により外国子会社合算税制の対象とならなくなった一部の米国LLC(Limited Liability Company)に係る繰延税金資産及び繰延税金負債の金額を見直しました。

この結果、四半期連結貸借対照表のその他の固定負債に含まれる繰延税金負債の金額(繰延税金資産の金額を控除した額)が4,295百万円、四半期連結損益計算書の法人税等に含まれる法人税等調整額が4,295百万円、それぞれ減少しております。

## 3. 補足情報

## 営業取引の状況

## (1) 取引種別別営業取引の状況

## ① 契約実行高

当第3四半期連結累計期間における契約実行高の実績は、次のとおりであります。

		契約実行高 (百万円)	前年同期比 (%)
リース	ファイナンス・リース	389,532	111.8
	オペレーティング・リース	244,177	137.6
	リース計	633,710	120.5
割賦		63,150	87.1
貸付		447,566	99.0
その他		60,191	156.4
合計		1,204,619	110.6

(注) リース取引については、当第3四半期連結累計期間に取得した賃貸用資産の取得価額を表示しており、再リース取引の実行額は含んでおりません。また、割賦取引については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

## ② 営業資産残高

当第3四半期連結会計期間における営業資産残高は、次のとおりであります。

		前連結会計年度		当第3四半期連結会計期間	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース	ファイナンス・リース	1,543,940	31.4	1,575,085	32.1%
	オペレーティング・リース	1,725,739	35.2	1,835,656	37.4%
	リース計	3,269,679	66.6	3,410,741	69.5%
割賦		255,553	5.2	247,361	5.0%
貸付		1,233,218	25.1	1,066,252	21.8%
その他		150,827	3.1	182,948	3.7%
合計		4,909,279	100.0	4,907,305	100.0%

(注) 割賦取引については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

## (2) 報告セグメント別営業取引の状況

## ① 契約実行高

当第3四半期連結累計期間における契約実行高の実績は、次のとおりであります。

	契約実行高 (百万円)	前年同期比 (%)
カスタマーファイナンス事業	874,346	105.1
アセットファイナンス事業	330,272	128.2
合計	1,204,619	110.6

(注) 各セグメントに含まれる契約実行高のうち、リース取引については、当第3四半期連結累計期間に取得した貸貸用資産の取得価額を表示しており、再リース取引の実行額は含んでおりません。また、割賦取引については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

## ② 営業資産残高

当第3四半期連結会計期間における営業資産残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度		当第3四半期連結会計期間	
	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
カスタマーファイナンス事業	2,830,958	57.7	2,698,166	55.0%
アセットファイナンス事業	2,078,321	42.3	2,209,138	45.0%
合計	4,909,279	100.0	4,907,305	100.0%

(注) 各セグメントに含まれる期末残高のうち、割賦取引については、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。